

下水道増補幹線のネットワークが拡大！

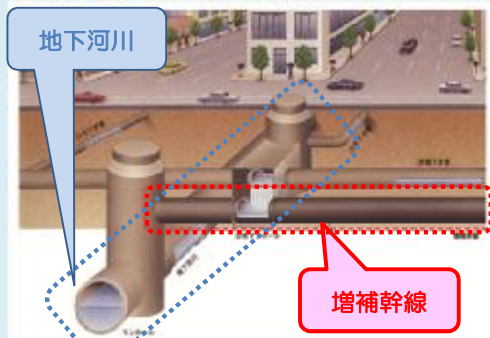
～寝屋川南部流域の安心・安全なまちづくり～

令和元年8月、新たな下水道増補幹線が完成し
東大阪地域の治水レベルが向上します！！

大阪府では、寝屋川流域における浸水対策として、河川と下水道が一体となった総合治水対策を進めています。

この度、新たな下水道増補幹線が完成し、東大阪市域をはじめ、八尾市域、大阪市域にまたがる約1,200haの区域（約10.8万人の居住エリア）において、約4.6万立方メートルもの雨水を貯留することができるようになります。

今回の完成により、寝屋川南部流域の受益エリアは約7,800ha※に拡大し、更なる浸水被害の軽減が図られます。



【完成した幹線】中央北増補幹線
延長: 2.0キロメートル
内径: 5.4メートル



中央北増補幹線

※ 7,800haとは、ユニバーサルスタジオジャパン約144箇所分の広さです。

供用開始による事業効果



治水機能を発揮しています！

— H30.7.5～7.8の梅雨前線豪雨による貯留状況 —

“街にあふれる前に雨水を貯留”

降雨前



※ 寝屋川南部地下河川

降雨後



※ 寝屋川南部地下河川

浸水被害が軽減される区域

